

令和2年度野生鳥獣による農作物被害及び捕獲数の状況について

1 農作物被害状況

(1) 農作物被害額 91,024千円（前年度から3,422千円の減 ▲3.6%）

(2) 獣種別被害額と品目

○ニホンジカ：31,685千円（前年度から2,332千円の増 +7.9%）
・品目は、果樹が70%を占める（ユズ28%、ミカン20%、スタチ18%）

○イノシシ：34,114千円（前年度から3,926千円の減 ▲10.3%）
・品目は、水稻32%、タケノコ18%、ミカン16%

○ニホンザル：19,180千円（前年度から1,797千円の減 ▲8.6%）
・多品目に被害があり、品目は、野菜61%、果樹31%、水稻6%

（参考）過去5年間の農作物被害額の推移

区分	H28	H29	H30	R1	R2
農作物被害額 (千円)	112,598	111,484	103,206	94,446	91,024

2 捕獲数

合計	24,129頭	…過去最多
(内訳) ニホンジカ	15,596頭	…過去最多
イノシシ	7,427頭	
ニホンザル	1,106頭	

（参考）過去5年間の捕獲数の推移

区分	H28	H29	H30	R1	R2	
捕獲数	ニホンジカ	14,013	12,752	12,717	14,355	15,596
	イノシシ	6,379	7,488	7,451	8,163	7,427
	ニホンザル	1,442	1,388	1,541	1,519	1,106
	計	21,834	21,628	21,709	24,037	24,129
対前年比	94.7%	99.1%	100.4%	110.7%	100.4%	

3 今後の対策

＜ニホンジカ＞

- ・「有害鳥獣捕獲」や「指定管理鳥獣捕獲等事業」により、引き続き捕獲圧を高める。
- ・剣山・三嶺付近に加え、県境付近までエリアを拡大して、捕獲対策を強化。
- ・農作物被害と生息密度の関連を調査し、被害軽減につながる捕獲に取り組む。

＜イノシシ＞

- ・「有害鳥獣捕獲」や「指定管理鳥獣捕獲等事業」により、引き続き捕獲圧を高める。

＜ニホンザル＞

- ・「捕獲適地の選定」から「管理」、「捕獲」までの一連の技術を「専門事業者」から地域住民等へ「継承」することにより、「継続的な被害対策」の確立。